



ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2510地区

2022-2023年度ガバナー 石丸 修太郎
(札幌西RC)

4月は1日の第2グループのIMで幕開けでした。滝川市で行われましたが、自衛隊OBの方からの講話を聞きそして久しぶりの懇親会には札幌花街から来ていただいた御姐さんたちの踊りもあり華やかな時間を過ごすことが出来ました。

その翌週8日は、第10と第11グループの合同IMでした。函館の駅前のホテルで開催され、懇親会では生バンドの演奏もあり、泊りがけで函館の夜を楽しみました。

翌日の9日、日曜日には、札幌で米山奨学生の新たオリエンテーションとカウンセラーを交えた歓迎会が開催されました。17名の新しく奨学生となった皆さんの初々しい挨拶は素晴らしいものでした。ハラルの方も居ましたが、懇親会もとても良い雰囲気でした。

その翌週は小樽で地区研修・協議会ということで土曜日に打ち合わせ会と懇親会があり、久しぶりに小樽の夜を楽しみました。4年ぶりのフルスペックの地区研修・協議会には、500名近いロータリアンが集まり大賑わいでした。

18日の夜は岩見沢東RCの創立40周年記念祝賀会に参加してきました。こじんまりとした中にもアットホームな温か味のある会でとても素敵なものでした。

そして22・23日は4年振りの地区新入会員セミナーを由仁で行われました。29名の新入会員の皆さんが参加され、まず、まじめにロータリーの歴史やルールや考えについて学び、その後グループに分かれてディスカッションを行い、活発な討議が行われとても有用な時間であったと思います。

その間、東京でロータリー活性化セミナーが2日間にわたって開催され、会員増強や財団・米山の話、そしてローターアクトの話がされました。このセミナーの最後にガバナー会が開催されましたが、初めて、ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニーの3世代のガバナーが集まり意見交換が行われとても有意義なものでした。

と、イベントの多かった4月でしたが、いろいろな人との出会いがあり、ロータリーの楽しさを実感することが出来た月でした。

さて5月は青少年奉仕月間です。地区ロータリーとしてはインターアクト・青少年交換・RYLAを青少年奉仕委員会の下で行っていますが、私のイメージでは、米山奨学生もローターアクトもロータリアンとしては若年層に対する奉仕活動だと思います。

また各クラブで行われている、地域の青少年のための様々な活動、野球をはじめとする運動の支援、交通安全活動、図書の寄贈、奨学金の支給、子ども食堂の支援などなど多くのロータリークラブで行っている活動はとても素晴らしいものだと思います。

社会で良いことをするのがロータリーですが、次世代へ良いことをするのがその頂点であると思います。子供たちが夢を持ってそれを実現するために様々なことに挑戦していくことを応援出来たらなんて素敵なのでしょう。

といいつつゴールデンウィークは、少しのんびりさせていただきますね。